

チャペル週報

No.20

2022.11.7～11.11

御言葉を行う人になりなさい。自分を欺いて、聞くだけで終わる者になってはいけません。

(ヤコブの手紙 1章 22節)



正門より甲山を望む (西宮上ヶ原キャンパス 1930年頃)

関西学院宗教センター

子どもの持ち味

栗山 誠

秋から冬にかけて、幼稚園や保育園では、日頃子どもたちが作ったり描いたりした作品を展示し、保護者にも見てもらう造形展（名称はコンセプトにより様々）が開催されることもあります。近年では作品だけでなく、制作過程の子どもの言葉や活動写真も置かれて、表現の様子がよくわかるように工夫しているところもあります。

今年も、私は様々な園にうかがう機会があり、たくさんの素敵な作品に出会うことができました。一つ一つの作品にゆっくりと心を止めてみると、それを作っている時の子どもの表情と同時に個性も出てきました。それは一人一人のこだわりや思い、選んだ色・材料、手順などと関連していると思われまます。子どもは最初、興味のあるテーマで、自分なりに描こうとするのですが、途中で想定外の形になって戸惑ったり、絵具の色が混ざる様子に目を輝かせたり、新たなイメージが湧いてワクワクしたりします。また描く中で自分の経験を思い出して嬉しそうに描くこともあります。そうした制作過程での偶発的な出来事に出会い、様々な感情体験をしているといえます。それを楽しみながら作った作品は、その子どもの「味」が滲み出ているように思うのです。指導された先生は、子ども一人一人の「味」を一緒に楽しみ、生かしながら、味のある作品に導いておられるのだと思います。

一人一人の「味」は、これからの時代、大事にされなければならないものです。なぜなら、AIが私たちの生活を管理する社会は、人の持つ「味」を限りなく薄くしていく社会だからです。そういった意味で、子どもたちが作ったり描いたりすることを楽しむ時間は、子どものこだわりや個性が最大限に尊重される時であり、自分の「持ち味」に気づく場所、そして育つ場所です。子どもたちは、自分の持ち味が他者から認められることによって、自己肯定感を高め、今度は他者の「味」を認めるのではないのでしょうか。

アート活動の中では、一人一人の表現が保障され、多様な価値観が尊重され、お互いが響き合います。こうした時間はこれからの時代、特に重要になってくると思われます。

「神はご自分が造った全てのものを見られた。見よ、それは非常に良かった。」（創世記 1:31）

それぞれの「持ち味」を大切にしていきたいものです。

（教育学部教授）

チャペルアワー スケジュール

西宮上ヶ原キャンパス、西宮聖和キャンパス・・・10:30-11:00
神戸三田キャンパス・・・10:40-11:10

11/ 7 月

神 前川 裕 (理学部宗教主事)
経 李 相勲 (宣教師、経済学部専任講師)
人 白波瀬 達也 (人間福祉学部教授)
建 Timothy O. Benedict (宣教師、社会学部助教)
聖和 波田埜クラス ダッドレーチャペル

8 火

神 神学を学ぶ^⑫ 浅野 淳博 (神学部教授)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 音楽チャペル ハンドベルクワイア
法 宗教総部
経 人間を考える^⑤ 山田 仁 (経済学部准教授)
商 Chapel in English Timothy O. Benedict (宣教師、社会学部助教)
国 平林 孝裕 (宗教主事)
理・工・生環 前川 裕 (宗教主事)
総 村瀬 義史 (宗教主事)
教 ヒューマン・サービス支援室

9 水

神 古澤 啓太 (日本キリスト教団 神戸東部教会)
社 大切なこと^④ 打樋 啓史 (宗教主事)
法 Christian M. Hermansen (宣教師、法学部教授)
商 木原 桂二 (宗教主事)
人 山 泰幸 (人間福祉学部教授)
国 橋本 周子 (国際学部准教授)
理・工・生環 前川 裕 (宗教主事)
教 梶原 直美 (宗教主事)

10 木

神 Christian M. Hermansen (宣教師、法学部教授)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 大切なこと^⑤ Vivian Bussinguer-Khavari (社会学部准教授)
法 Christian Triebel (宣教師、学長直属助教)
経 人間を考える^⑥ 長谷川 哲子 (経済学部准教授)
商 枝川 豊 (高等部長)
人 風間 朋子 (人間福祉学部准教授)
国 Chapel in English Eun Ja Lee (宣教師、国際学部教授)
総 特定非営利活動法人 メインストリーム協会
聖和 林 昌利 (日本キリスト教団 芦屋山手教会牧師)

11 金

神 平井 志帆子 (神学研究科 M2)
文 Chapel in English Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 舟木 譲 (宗教主事)
院 食欲の秋 井上 智 (宗教センター宗教主事)
理・工・生環 Christian Triebel (宣教師、学長直属助教)

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10~8:30 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)
11月11日(金) 司法研究科のために 池田 直樹(司法研究科長)
Zoomでご参加希望の教職員・学生の方は、宗教センター(shukyocenter@kwansei.ac.jp)へ
①メールアドレス②お名前③所属④関学との関係(学生等)をメールでお知らせください。

●院長室から発信! ビデオメッセージ「風に思う」配信のご案内

院長室からのビデオメッセージ「風に思う」の配信が始まりました。毎回、聖書の言葉を取り上げ、それが今を生きる私たちに何を語るか、短くお話しします。キャンパスの美しい風景と合わせて、関西学院の中心となる精神に触れてください。



(月2回程度で更新されます)

<https://ef.kwansei.ac.jp/about/kazeniomou> 「風に思う」 関西学院 院長室からのメッセージ(HP)

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アプローチタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の月1回木曜日にチャペルアワーを開催します。

【どなたでもご自由にご参加ください。】(17:50~18:10 1405教室)

11月10日(木) メッセージ担当: 嶺重 淑(大学宗教主事)

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第二・第四日曜日(原則)の午前10時から関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っています。

どなたでも(クリスチャンでなくとも)ご参加できますのでどうぞお越しください。

11月13日(日)、27(日) 10:00~11:00

●ボランティアに関心がある皆さんへ(ヒューマン・サービス支援室からお知らせ)

単発のボランティアや継続して関わるボランティア団体・サークルの紹介をしています。

[ボランティア参加までの流れ]

https://www.kwansei.ac.jp/c_volunteer/c_volunteer_m_001740.html

[相談予約・お問い合わせフォーム]

個別にボランティアの紹介や相談対応をしています。

<https://onl.tw/UBvnyqX>

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

3年ぶりに関西学院最大のクリスマス行事が大阪のザ・シンフォニーホールで開催されます。

参加費(入場料)は宗教活動委員会を通して関連団体に献金させていただきます。

日時: 2022年12月20日(火) 17:30開場 18:30開始 20:50終了

会場: ザ・シンフォニーホール(大阪市北区大淀南2-3-3)

内容: 第一部・・・聖書朗読と音楽で綴る降誕物語とクリスマスメッセージ

第二部・・・学院の音楽団体とゲストによるクリスマスコンサート

参加費: 2100円 当日座席指定(16:30より座席券と交換)

チケット販売

*関西学院大学生協 tel.0798-53-5150 (NUC, KSC, NSCで販売)

*チケットぴあ Pコード 226-572

*ぴあ取扱いのコンビニエンス・ストア: セブン・イレブン、ファミリーマート

*ザ・シンフォニーチケットセンター tel.06-6453-2333 (火曜定休)

(ザ・シンフォニーホール内)

主催: 関西学院 共催: 関西学院後援会・関西学院同窓会

問合せ: 関西学院宗教センター tel.0798-54-6018

関西学院宗教センター

<https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/>

